

学校に行つて、勉強したり、部活動を頑張ったり、友だちと楽しく喋ったりしたいのに、どうしても学校に行けなくなりました。A子は、中学校への入学に当たつて、中学校で3年間きちんと勉強して、志望高校に進みたいと考えていましたが、それがかなわなかったのです。子どもが、教室や部活動の場に居場所がなく、登校できないというのは本当に辛いことです。身が震えるほど切なく、悔しいことです。

その原因やきっかけとなった子たちが、のほほんと登校して、何事もなかったかのように傍若無人に行動し、A子の机を私物置き場に行っているような振る舞いは、ただただ恨めしいばかりでした。

新しい学級担任のB先生が、その後のA子にとつても、母親である私にとつても、大きな支えになりました。

初めてお会いしたとき、B先生が、「A子さんは、大変苦しく、切ない体験を強いられて、心を深く傷つけられたのですね。可哀想に……。」と、親身に共感してくれました。目頭がじいんと熱くなり、児童・生徒にとつて、いかに先生方の存在が大切か、痛感しました。

B先生は、登校できないA子のために、家庭訪問や電話連絡などを通して、さりげなく手を差し延べてくれました。殊に、

A子が非常に気にしていた学習の遅れについて、適切な助言と配慮をしていただき、今でも心から感謝しています。

A子は、保健室の先生にも、温かく見守っていただきました。

塾の先生にもずっと、細やかに、粘り強く支えていただきました。

短い期間でしたが、フリースクールの先生にも大変お世話になりました。

教育相談員にもいろいろなことを相談して、いろいろなことを教えてもらいました。話を聞いてもらうことによつて、

自分の気持ちを整理したり、冷静に、客観的に母親としての自分を見つめ直したりすることもできました。当初は相談することにもできませんでした。最初は相談す

ることにためらいもありましたが、思い切つて相談して、本当に良かったと思います。

父親も内心は心配や不安、憤りなどを抱えていたと思いますが、常にA子を温かく支え、A子の話についても真剣に耳を傾けていました。あるとき、A子の大変さをきちんと受け止めていけば……、

という自責の念に苛まれていた私を責めることもありませんでした。このような父親の受容的な姿勢が、A子が幾つもの険しい峠を乗り越える原動力のひとつになったと思います。

多くの方の温かいご支援によつて、A

子はC高校に合格することができました。その喜びはひとしおでしたが、やはり、

高校でも中学校と同じことが起こるのではないかと心配でした。半面、A子の苦しい体験を通して、私自身も少しは成長したのでしようか、A子を信じ、「そのときは、そのとき！」と腹を括つてい

る母の強さも感じていました。そんな親の心配をよそに、A子は、C高校の卒業文集に、「最高の高校3年間！」と書き綴つたように、楽しく、充実した高校生活を送りました。そして、

勉強も大いに頑張り、希望する大学に進むことができました。

私の苦しい体験と反省が少しでも、今現在、当時の私のような苦しみに直面している後輩のお母さんのお役に立つならば、嬉しい限りです。

特に、次の点については、きちんとお伝えして、A子のような辛い中学校生活を送る子がいなくなると同時に、児童・生徒誰もが充実した学校生活を送ることを切に願っています。

○親は、子どもの何気ない言葉の底にある切実な思いを敏感に感じ取り、子どもに起こっている事実とその因果関係を把握し、子どもを全面的に支える。

○悪口を言つたり、無視したり、仲間外しにしたり、また、苛々した感情をぶついたりする行為は、人の心を傷つけるいじめであり、差別であり、人権侵害であり、さらには、尊い命までも奪う犯罪である。だが、いじめ行為を繰り返す子の大半は、その自覚がない。

このような子の親も、「あれは遊びだ。子ども同士、ふざけ合つていただけだ。」以前、うちの子も同じようなことをやられた。」学校で起こったことは学校の責任だ。学校で指導しろ。」

「いじめられる子にも原因がある。」と、責任転嫁や正当化に走る傾向がある。

しかし、親は親の責任として、理由の有無を問わず、いじめは絶対に許されない卑劣な行為であることを、子どもが納得するまで全身全霊で教えなければならぬ。いじめ行為によつて、義務教育の機会を奪われ、甚大な精神的苦痛と時間的な犠牲、経済的な負担が強いられる子と、その親、その家族がいるからだ。そして、まことに痛ましいことだが、時には自ら命を絶つ子もいるからだ。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。

○親は、どんなに忙しくても、どんなに疲れていても、子どもが「SOS」を発したときは、その場できちんと受け止めて、親身に相談に乗り、真剣に対応する。